

II 調査結果の概要

1 人口の動向

平成7年国勢調査による茨城県の人口（平成7年10月1日現在）は、2,955,512人（全国第11位）となった。

前回（平成2年）調査時と比較すると110,130人増加し、増加率3.9%と以前増加が続いているが、これを前回と比較すると増加数で10,247人少なく、増加率も0.5ポイント低下している。

(1) 総人口

平成7年中に16,740人 本県の人口は、平成7年中に16,740人増加し、平成8年1月1日現在率で0.57%増加で2,959,931人となった。人口増加率は0.57%で、これを前回（増加数22,139人、増加率0.75%）と比較すると、数で5,399人、率で0.18ポイント下回っている（第3表、図-1）。

人口増加の内訳は、自然動態で6,883人（増加率0.23%）の増加、社会動態で9,857人（同0.33%）の増加である。これを前年と比べると、自然増加は数で2,746人、率で0.1ポイントそれぞれ下回り、社会増加も数で2,653人、率で0.1ポイントそれぞれ下回った（第5表、第7表）。

男女別人口の内訳は、昨年中に男子8,433人（増加率0.57%）、女子8,307人（増加率0.56%）、それぞれ増加し、平成8年1月1日現在で男子1,478,696人、女子1,481,235人となっている。この結果、性比（女子人口を100とした時の男子人口の割合）は99.8となっている（第3表）。

また、平成7年10月1日現在での1km当たりの人口密度は485.0人となり、前年同月に比べ1.0人高くなっている（第2表）。

(2) 地域及び市町村別人口

市部及び郡部別にみた昨年の人口増加は、市部8,604人（増加率0.51%）、郡部8,136人（同0.64%）である。この結果、平成8年1月1日現在で、市部が1,676,321人、郡部が1,283,610人となり、県人口に占める割合は市部が56.6%、郡部が43.4%となっている。また、増加率を前年と比べると、市部が0.12ポイント、郡部も0.26ポイント、それぞれ下降している（第4表）。

増加数の約6割が 次に、県内5地域別に人口増加をみると、県南地域が11,122人（増加率1.18%）で最も著しく、以下、鹿行地域1,980人（同0.73%）、県西地域1,499人（同0.26%）、県央地域1,370人（同0.28%）、県北地域769人（同0.12%）の順となっている。増加率は前年と比べると、県南地域が0.29ポイント、県北地域が0.22ポイント、県西地域が0.14ポイント、県央地域0.09ポイント、鹿行地域が0.06ポイントと、すべての地域において下降している（第4表）。

この結果、各地域の県人口に占める割合は、平成8年1月1日現在で県北地域（665,808人）が22.5%、県央地域（492,279人）が16.6%、鹿行地域（269,827人）が9.1%、県南地域（951,269人）が32.1%、県西地域（580,748人）が19.6%となっている。これを前年と比べると、県南地域が0.2ポイント上昇し、県北地域、県央地域、県西地域が0.1ポイントそれぞれ低下し、鹿行地域が変わらなかった。（第4表）。

85市町村のうち54市町村 市町村別に人口増加をみると、17市35町村で増加、3市30町村で減少した。人口増加率を前回と比べてみると、今回（平成7年）も前回（平成6年）も増加したのは15市34町村、今回増加で前回減少は2市1村、今回も前回も減少したのは1市18町村、今回減少で前回増加は1市12町村、今回増減なしで前回増加したのは1市である。なお、平成7年10月1日、鹿嶋市誕生により鹿嶋町と大野村が廃止され県内は85市町村となった（第4表、表-1）。

図-1 総人口、人口増加数及び人口増加率の推移（昭和51年～平成7年） —茨城県—

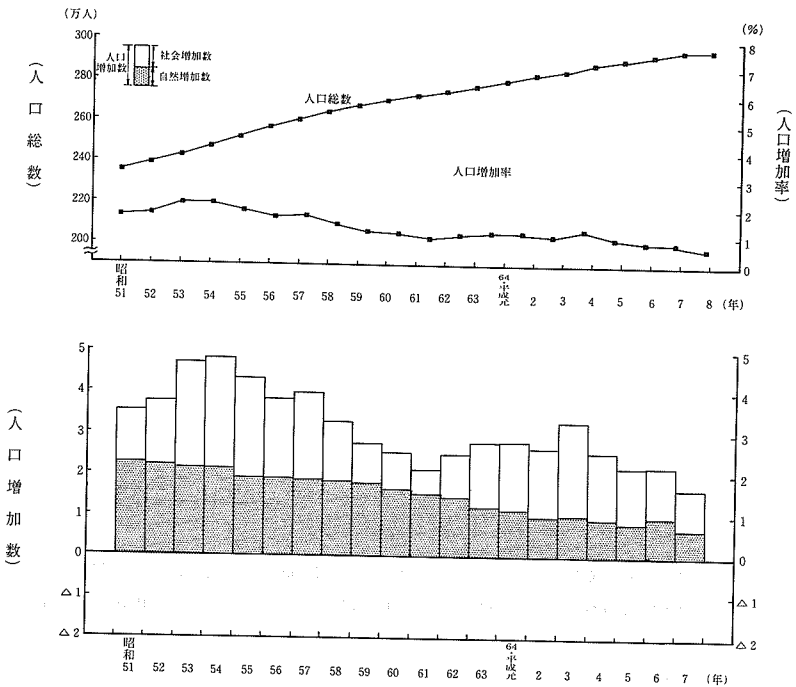


表-1 市町村別人口増加率（平成7年）

（単位：%）

人口増減	県北地域 (0.12)	県央地域 (0.28)	麓行地域 (0.73)	県南地域 (1.18)	県西地域 (0.26)	人口増減
7年増加市町村	北茨城市 0.41	水戸市 0.01	鹿嶋市 0.63	石岡市 0.14	古河市 0.14	6年を下回る市町村
	ひたちなか市 0.51	内原町 0.12	鶴来町 0.07	石ヶ崎市 3.65	河妻井市 0.21	
	東海村 0.78	瀬町 0.16		牛久市 1.94	岩井和町 0.69	
	那珂町 1.18			江戸崎村 2.68	三和町 0.80	
				美浦村 2.82		
				阿見町 1.85		
				新利根村 2.04		
				新八郷町 0.59		
				守谷町 2.43		
				藤代町 0.05		
6年増加市町村	常陸太田市 0.81	美野里町 2.37	旭村 0.69	土浦市 0.87	結城市 0.23	6年を上回る市町村
	大宮町 0.48	常北町 2.45	田町 0.81	つくば市 1.35	水海道市 0.36	
	金砂郷町 1.23	桂村 1.29	大津村 0.86	河内村 1.28	八千代町 0.24	
		友部町 1.70	神栖町 2.32	河内村 1.10	千代川町 0.84	
		岩間町 0.61	波崎町 0.93	玉代田村 1.05	石下町 1.48	
				谷和原村 4.42		
				取手市 0.14		
6年減少		笠間市 0.12	北浦村 0.03			
増減なし	高萩市 0.00					
7年減少市町村	瓜連町 △0.01	大洗町 △0.26	牛畑町 △0.79			6年を下回る市町村
	山方町 △0.19	七会村 △0.95				
	水尾村 △0.42					
	里美村 △0.35					
	日立市 △0.52	御前山村 △1.83	麻生町 △0.69	桜川村 △1.04	真壁町 △1.08	
	英和村 △0.92			村 △0.45		
	緒川村 △1.30			島根村 △0.30		
	緒大子町 △1.04			根町 △1.17		
	大王町 △0.59					
6年増加		茨城町 △0.50	玉造町 △0.29	新治村 △0.29	下館市 △0.05	6年を下回る市町村
		小川町 △0.12		伊奈町 △0.62	館野町 △0.06	
増減なし					野和村 △0.15	
					明大橋 △0.14	
					五霞 △0.22	
					五嶺 △0.25	
					環島 △0.63	

増加率の最も高いのは 増加率の高い市町村をみると、谷和原村（増加率4.42%）が最も高谷和原村。上位4位ま く、次いで龍ヶ崎市（同3.65%）、美浦村（同2.82%）、江戸崎町（同で県南地域が占める 2.68%）、常北町（同2.45%）の順で、上位2市村が増加率3.00%を越えている。また、今回は県南地域に増加率の高い市町村が多い。また、守谷町、美野里町、神栖町、新利根村等も高い増加率を示している。増加数では、龍ヶ崎市（2,443人）が最も多く、以下、つくば市（2,091人）、牛久市（1,282人）、土浦市（1,144人）、（守谷町1,097人）の順となっている（表-2、図-2）。

次に、減少率の高い市町村を見ると、御前山村（△1.83%）が最も高く、以下、緒川村（△1.30%）、利根町（△1.17%）の順で、県北地域の山間部の町村が高い値を示している。減少数では、日立市（△1,042人）が最も多く、以下、大子町（△269人）、利根町（△241人）、真壁町（△224人）、茨城町（△181人）となっており、その他伊奈町、麻生町も含め上位7市町が100人以上減少している。（表-2、図-2）。

表一 2 市町村別人口増加率及び増加数順位 (平成7年)

人口増加率		人口増加数			
順位	上位10市町村		下位10市町村		順位
	市町村名	人口増加率 (%)	市町村名	人口増加率 (%)	
1	谷和原村	4.42	御前山村	△1.83	
2	龍ヶ崎市	3.65	緒川村	△1.30	
3	美浦村	2.82	利根町	△1.17	
4	江戸崎町	2.68	真壁町	△1.08	
5	常北町	2.45	大子町	△1.044	
6	守谷町	2.43	桜川村	△1.043	
7	美野里町	2.37	七会村	△0.95	
8	神栖町	2.32	美和村	△0.92	
9	新利根村	2.04	牛堀町	△0.79	
10	牛久市	1.94	麻生町	△0.69	

人口増加率		人口増加数			
順位	上位10市町村		下位10市町村		順位
	市町村名	人口増加数 (人)	市町村名	人口増加数 (人)	
1	龍ヶ崎市	2,443	日立市	△1,042	
2	つくば市	2,091	大子町	△269	
3	牛久市	1,282	利根町	△241	
4	土浦市	1,144	真壁町	△224	
5	守谷町	1,097	茨城町	△181	
6	神栖町	1,024	伊奈町	△165	
7	阿見町	831	麻生町	△120	
8	ひたちなか市	757	御前山村	△88	
9	谷和原村	607	桜川村	△82	
10	友部町	571	十王町	△78	

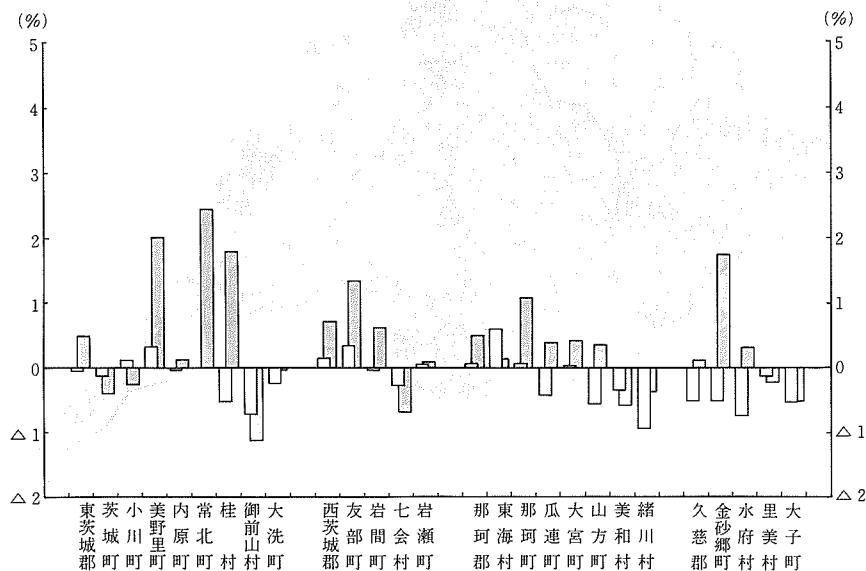
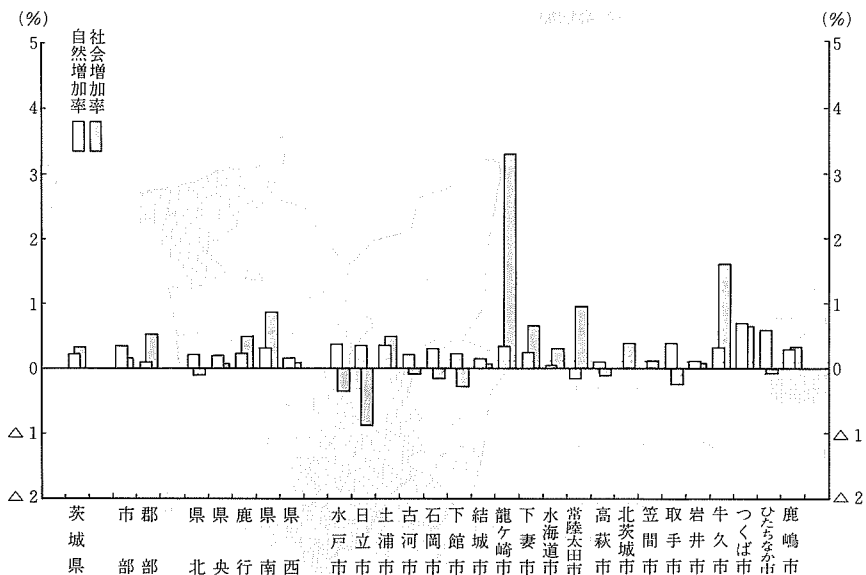
注) 県平均0.57%

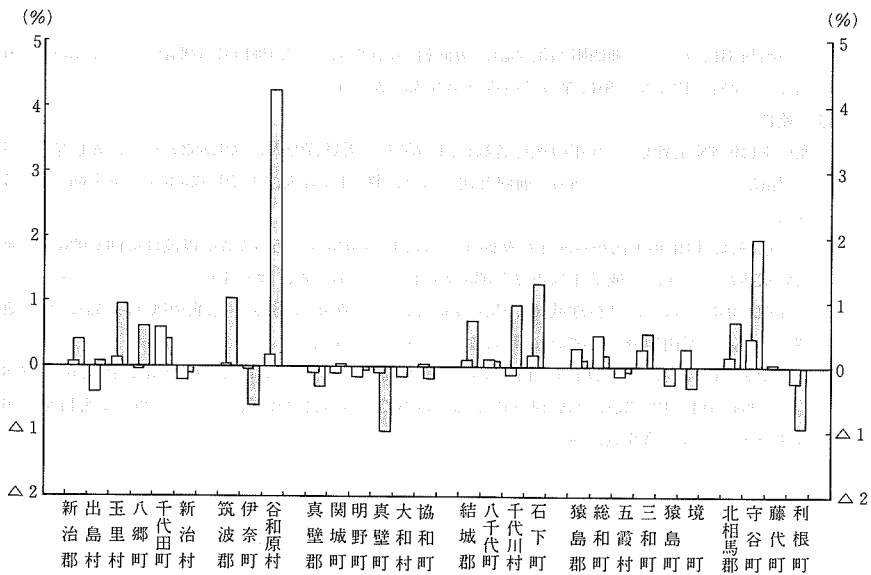
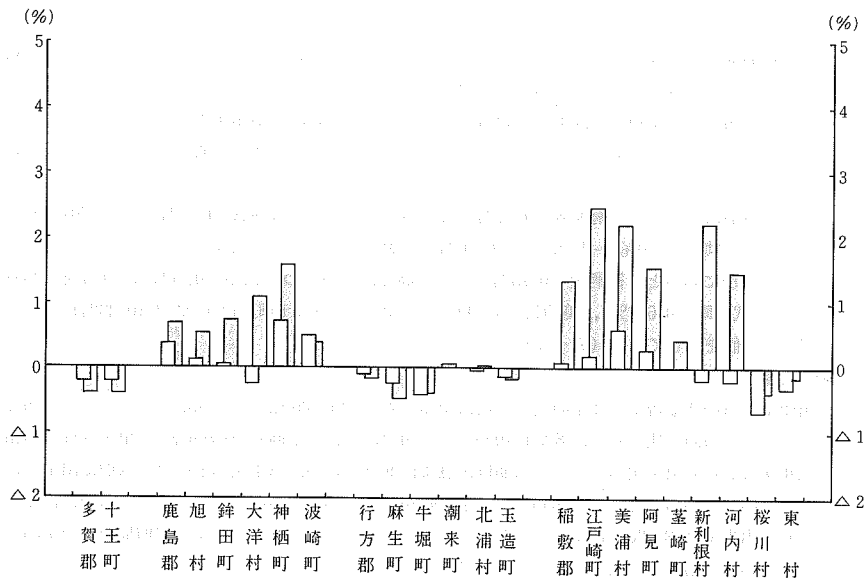
日立市の人口が20万人、市町村の人口規模をみると、平成8年1月1日現在で20万人以上の大台を割るが1市(水戸市)、10万人以上20万人未満が4市(日立市、つくば市、ひたちなか市、土浦市)で、以上5市の合計が881,554人となり、県人口の約30%を占めている。郡部では3万人以上5万人未満の町村が12町村、2万人以上3万人未満の町村が16町村、1万人以上2万人未満の町村が22町村となった。また、4万人を越える町は、5町(総和町、阿見町、守谷町、那珂町、神栖町)となっている(第4表、表-3)。

表一 3 人口規模別市町村数数の推移 (昭和57年~平成8年)

人口階段 (人)	各年1月1日現在														
	昭和57(年)	58	59	60	61	62	63	64	2	平成3	4	5	6	7	8
総 数	92	92	92	92	92	92	89	88	88	88	88	87	87	86	85
市 計	18	18	18	18	18	19	20	20	20	20	20	20	20	19	20
20万以上	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1
10万以上20万未満	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	4
7.5万以上10万未満	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5万以上7.5万未満	4	3	3	4	4	5	6	6	6	7	7	7	7	6	8
3万以上5万未満	10	10	10	9	9	9	8	8	8	7	7	7	7	7	6
3万未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
郡 計	74	74	74	74	74	73	69	68	68	68	68	67	67	67	65
5万以上	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3万以上5万未満	10	11	11	11	11	12	10	12	12	12	12	13	13	13	12
2万以上3万未満	18	19	20	19	19	18	19	16	16	16	16	15	15	15	16
1万以上2万未満	27	25	25	25	26	26	23	23	23	23	24	23	24	20	22
0.5万以上1万未満	18	17	16	16	15	15	15	15	15	14	13	12	11	14	10
0.5万未満	1	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	4	5	5	5

図一三 自然増加率及び社会増加率（平成7年） 一県・地域・市町村一





2 自然動態

(1) 自然増加

自然増加は、率、数 平成7年中の自然動態は、出生児数28,557人、死亡者数21,674人で6,883ともに減少に転じる 人 (0.23%) の増加となっている (第5表)。

自然増加率は昭和40年代後半に1.00%台に達していたものの、昭和50年代に入ってから、毎回低下し続け、前回は率、数ともに増加したが、今回また、率、数とも低下した (第5表、第6表、図-4)。

5地域別にみると、県南地域が0.31%で最も高く、以下、鹿行地域 (0.24%)、県北地域 (0.21%)、県央地域 (0.20%)、県西地域 (0.16%) の順となっている (第6表)。

市町村別にみると、神栖町 (0.73%) が最も高く、以下、つくば市 (0.70%)、東海村 (0.62%)、千代田町 (0.612%)、美浦村 (0.609%) の順で、この5市町村が県平均 (0.23%) の2倍以上の数値を示している (表-4)。

(2) 出生

出生率は再び9%台に 昨年の出生児数は28,557人 (男14,700人、女13,857人) で、出生率は9.7%である。前回と比べると、数で1,199人、率で0.4ポイント下回った (第6表)。出生率は、昭和22年から24年の第1次ベビーブーム期以後急激に低下したが、第1次ベビーブーム期に出生した女子が出産年齢期に達した昭和40年代後半 (昭和46年~49年) の第2次ベビーブーム期に再び上昇し、出生率は18.0%を越えた。しかし、その後は低下しつづけ、これが自然増加鈍化の主因となっている (第5表、図-4)。

5地域別にみると、鹿行地域 (10.4%) が最も高く、県北地域 (9.8%)、県南地域 (9.7%)、県央地域、県西地域 (それぞれ9.4%) の順で、鹿行地域が唯一10.0%を上回っている (第6表)。

市町村別にみると、神栖町 (13.3%)、東海村 (13.0%)、千代田町 (12.69%)、つくば市 (12.66%)、美浦村 (12.5%) の順になっている (第6表、表-4)。

(3) 死亡

死亡率は0.4%上昇し 昨年の死亡者数は21,674人 (男11,792人、女9,882人) で、死亡率は7.37.3%に %である。前回と比べると、数で1,547人、率で0.4%ポイント上回った (第6表)。

死亡率は、昭和40年代から50年代初頭までは7.0~8.0%台であったが、以後は毎回6.0%台で横ばい状態だったが、平成7年は再び7.0%台を示した (第5表、図-4)

5地域別にみると、鹿行地域 (8.0%) が高く、県西地域 (7.8%)、県北地域 (7.7%)、県央地域 (7.4%)、県南地域 (6.6%) の順になっている (第6表)。

市町村別にみると、緒川村 (15.3%) が最も高く、以下、桜川村 (13.2%)、山方町 (12.8%)、御前山村 (12.7%)、水府村 (12.5%) の順で、さらに美和村、桂村を含めた7町村が12.0%を越えている (第6表、表-4)。

図-4 自然動態の推移（昭和51年～平成7年） 一茨城県一

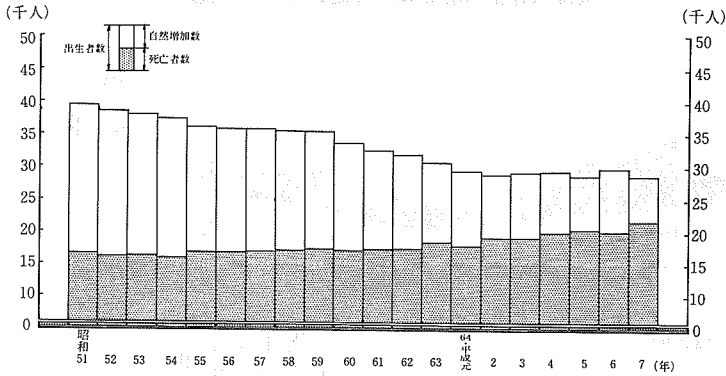
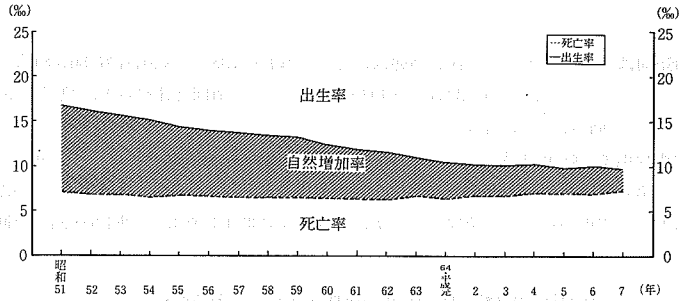


表-4 自然増加、出生及び死亡率の高い（低い）主な市町村

（自然増加率）

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	自然増加率(%)	市町村名	自然増加率(%)
1	神栖町	0.73	緒川村	△0.94
2	つくば市	0.70	水府村	△0.75
3	東海村	0.62	御前山村	△0.71
4	千代田町	0.612	桜川村	△0.67
5	美浦村	0.609	山方町	△0.56

注) 県平均0.23%

（出生率）

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	出生率(%)	市町村名	出生率(%)
1	神栖町	13.3	利根町	4.8
2	東海村	13.0	水府村	5.1
3	千代田町	12.69	御前山村	5.6
4	つくば市	12.66	牛堀町	5.8
5	美浦村	12.5	緒川村	5.9

注) 県平均9.7%

（死亡率）

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	死亡率(%)	市町村名	死亡率(%)
1	緒川村	15.3	牛久市	5.2
2	桜川村	13.2	守谷町	5.3
3	山方町	12.8	取手市	5.4
4	御前山村	12.7	つくば市	5.6
5	水府村	12.5	茎崎町	5.7

注) 県平均7.3%

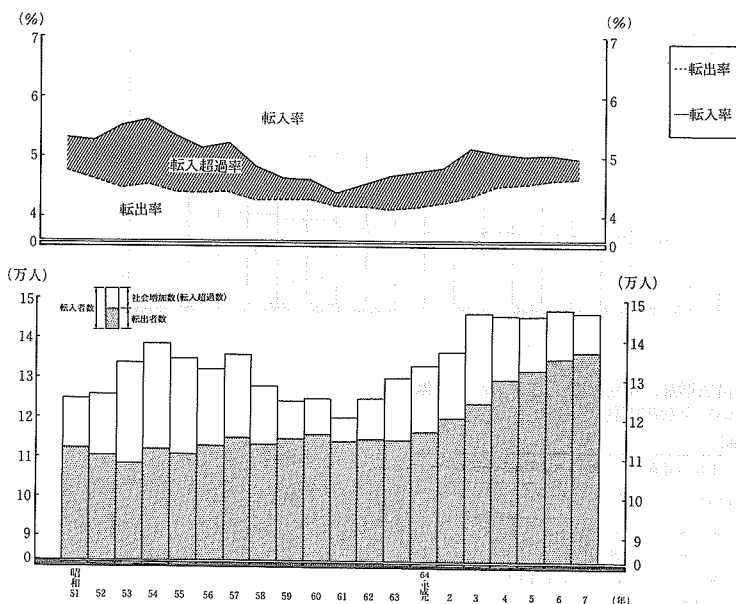
3 社会動態

(1) 社会増加

社会増加の増加傾向は 平成7年の社会動態は、転入者数146,738人、転出者数136,881人でさらに鈍化 9,857人(0.33%)の増加となっている。前回と比べると、数で2,653人、率で0.1ポイント下回った(第8表)。

社会動態は昭和42年まで転出超過であったが、昭和43年から転入超過となり、以後、今回まで続いている。転入超過率(社会増加率)をみると、昭和53年及び54年には1.00%を上回っていたものの、以後低下し、62年から上昇し続けていたが、平成3年に低下に転じ、今回も前回を下回り、5年連続して低下した。

図-5 社会動態の推移(昭和51年～平成7年) -茨城県-



県北地域は転出超過。 市部及び郡部別にみると、市部で2,892人、郡部で6,965人それぞれ 県南地域の転入超過数 転入超過となっており、郡部の方が市部より多い傾向は続いている(第8表)。

また、5地域別にみると、県北地域が654人の転出超過となったものの、4地域が転入超過となっており、県南地域が転入超過数8,229人と極めて多く、次いで鹿行地域が1,338人、県西地域が560人、県央地域が384人となっている。県南地域は、転入超過率の高さも著しく0.87%と県平均、(0.33%)の2倍以上の数値となっている。転入超過数を前回と比べると、鹿行地域で206人、県央地域で85人それぞれ増加しているのに対し、県南地域で1,958人、県北地域で710人、県西地域で276人それぞれ減少している(第8表)。

85市町村のうち52次に、市町村別に見ると、転入超過が12市40町村、転出超過が8市24町市町村が転入超過村、転出・転入が同じが1村と、全85市町村のうち約6割の市町村が転入超過となっている。転入超過率の最も高い市町村は、谷和原村(4.24%)で、次に龍ヶ崎市(3.31%)で、この1市1村が3.00%を越えている。増加数では、龍ヶ崎市(2,217人)が最も多く、以下、牛久市(1,068人)、つくば市(1,007人)、守谷町(893人)、神栖町(703人)の順で、上位3市が1,000人を越えている。一方、転出超過率の最も高いのは、御前山村(△1.12%)、次いで、真壁町(△0.99%)、利根町(△0.94%)の順である。減少数では、日立市(△1,775人)、水戸市(△884人)、取手市(△209人)、真壁町(△205人)、利根町(△192人)の順となっている(第8表、表-5)。

表-5 社会増加率及び移動率の高い(低い)主な市町村

(社会増加率)					(移動率)				
順位	上位5市町村		下位5市町村		順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	社会増加率(%)	市町村名	社会増加率(%)		市町村名	移動率(%)	市町村名	移動率(%)
1	谷和原村	4.24	御前山村	△1.12	1	つくば市	16.47	七会村	4.69
2	龍ヶ崎市	3.31	真壁町	△0.99	2	阿見町	13.68	里美村	4.75
3	江戸崎町	2.48	利根町	△0.94	3	谷和原村	13.67	美和村	4.83
4	常北町	2.45	日立市	△0.88	4	守谷町	13.55	麻生町	4.86
5	新利根村	2.23	七会村	△0.68	5	神栖町	13.39	真壁町	4.91

注) 県平均0.33% (左側) / 注) 県平均9.60% (右側)

(2) 転入及び転出

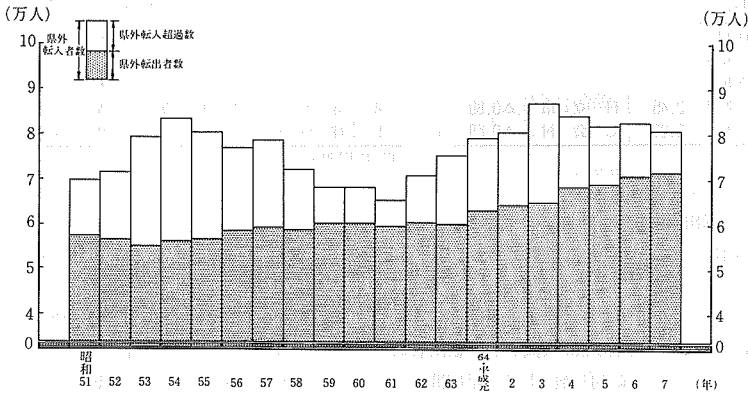
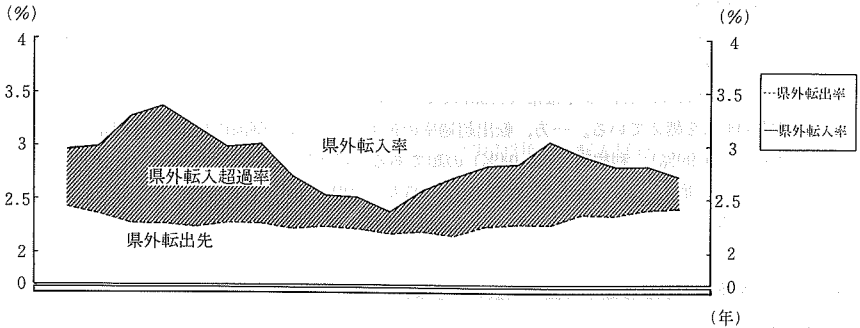
県外転出者は社会動態の活性度の目安となる昨年の移動数(転入者及び転出者の合計増加傾向)は、283,619人で移動率は9.60%である。前回と比べると、数で941人増加したが、率では0.04ポイント下回っている。内訳は、転入者数146,738人、転出者数136,881人で、前回より転入者数が856人減少し、転出者数が1,797人増加している(第8表、表-6)。

また、移動を県内市町村移動(以下「県内間」とする。)と県外間移動(以下「県外間」とする。)とに分けてみると、県内間では、転入者数64,063人、転出者数64,246人である。県外間では、転入者数が前年より1,884人減少し80,673人、転出者数は、823人増加し71,517人となり、前年を2,653人下回る9,857人の転入超過となっている(第8表、表-6)。

表-6 転入・転出者の内訳(平成6年~7年) 一茨城県一

区分	計				
	県外	県内	その他		
転入者数△	平成6年	147,594	82,557	63,251	1,786
	平成7年	146,738	80,673	64,063	2,002
	増加	△856	△1,884	812	216
転出者数△	平成6年	135,084	70,694	63,431	959
	平成7年	136,881	71,517	64,246	1,118
	増加	1,797	823	815	159
社会増加数△	平成6年	12,510	11,863	△180	827
	平成7年	9,857	9,156	△183	884
	増加	△2,653	△2,707	△3	57

図一六 県外間移動の推移 (昭和51年～平成7年) 茨城県



(3) 地域間移動

近隣都県間では、福島、栃木 本県の昨年の地域間移動を県内は5地域間で、県外は主として県を除いて転入超過 近隣都県間とで見ると、移動数の県内及び県外別内訳は、県北地域で県内間移動の割合が高くなっている(表一七)。

県内間移動では、県南及び県西地域が、他の地域全てに対して転入超過となっているのが特徴である(表一七)。

次に、県外移動をみると、近隣都県間は、福島県及び栃木県を除き、いずれも転入超過となっている。転入超過数では、千葉県に対する3,523人が最も多く、以下、埼玉県(1,263人)、神奈川県(1,173人)、東京都(811人)の順で、4都県すべて前回よりも減少している。

5地域別にみると、県南地域の転入超過数7,409人が、他の4地域に比べて著しく多く約8割を占めている。特に、千葉県(3,313人)と東京都(1,268人)に対して多くなっている(表一七)。

表-7 県内及び県外（近隣都県）別地域間移動数及び超過数（平成7年）

地 域		茨 城 県		県北地域		県中央地域		鹿行地域		県南地域		県西地域			
		移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)		
県 内	転 入 計	144,736	100.0	25,193	100.0	24,279	100.0	12,579	100.0	59,478	100.0	23,207	100.0		
	移 動 数	県内計	64,063	44.3	14,727	58.5	12,564	51.7	4,999	39.7	21,790	36.6	9,983	43.0	
		県北地域	14,859	10.3	9,109	36.2	3,951	16.3	347	2.8	1,030	1.7	422	1.8	
		県中央地域	12,202	8.4	3,656	14.5	4,831	19.9	720	5.7	2,148	3.6	847	3.6	
		鹿行地域	5,085	3.5	391	1.6	789	3.2	3,176	25.2	565	0.9	144	0.6	
		県南地域	22,241	15.4	1,185	4.7	2,260	9.3	631	5.0	16,189	27.2	1,976	8.5	
		県西地域	9,696	6.7	386	1.5	733	3.0	125	1.0	1,858	3.1	6,594	28.4	
	超 過 数	県内計	-	-	47	-	382	-	7	-	404	-	375	-	
		県北地域	373	-	-	-	334	-	△15	-	50	-	4	-	
		県中央地域	316	-	35	-	-	-	14	-	130	-	137	-	
		鹿行地域	225	-	29	-	130	-	-	-	40	-	26	-	
		県南地域	163	-	7	-	△64	-	12	-	-	-	208	-	
		県西地域	138	-	△24	-	△18	-	△4	-	184	-	-	-	
	県 外	転 入 者 数	県外総数	80,673	55.7	10,466	41.5	11,715	48.3	7,580	60.3	37,688	63.4	13,224	57.0
			福島県	2,162	1.5	812	3.2	513	2.1	99	0.8	529	0.9	209	0.9
栃木県			3,838	2.7	408	1.6	647	2.7	110	0.9	778	1.3	1,895	8.2	
埼玉県			7,743	5.3	735	2.9	1,110	4.6	632	5.0	2,993	5.0	2,273	9.8	
千葉県			14,436	10.0	1,158	4.6	1,388	5.7	2,089	16.6	8,550	14.4	1,251	5.4	
東京都			15,558	10.7	2,020	8.0	2,230	9.2	1,391	11.1	7,742	13.0	2,175	9.4	
神奈川県			7,715	5.3	1,269	5.0	1,130	4.7	747	5.9	3,622	6.1	947	4.1	
その他の県			29,221	20.2	4,064	16.1	4,697	19.3	2,512	20.0	13,474	22.7	4,474	19.3	
転 出 計			133,921	100.0	26,558	100.0	23,023	100.0	11,428	100.0	50,985	100.0	21,927	100.0	
転 出 者 数		県外総数	71,517	53.4	11,394	42.9	11,058	48.0	6,346	55.5	30,279	59.4	12,440	56.7	
		福島県	2,400	1.8	909	3.4	448	1.9	105	0.9	704	1.4	234	1.1	
		栃木県	4,047	3.0	422	1.6	614	2.7	118	1.0	792	1.6	2,101	9.6	
		埼玉県	6,480	4.8	831	3.1	1,007	4.4	374	3.3	2,224	4.4	2,044	9.3	
		千葉県	10,913	8.1	1,322	5.0	1,387	6.0	1,847	16.2	5,237	10.3	1,120	5.1	
		東京都	14,747	11.0	2,461	9.3	2,415	10.5	1,150	10.1	6,474	12.7	2,247	10.2	
	神奈川県	6,542	4.9	1,266	4.8	1,072	4.7	596	5.2	2,703	5.3	905	4.1		
	その他の県	28,388	19.7	4,183	15.8	4,115	17.9	2,156	18.9	12,145	23.8	3,789	17.3		
	超 過 数	県外総数	9,156	-	△928	-	657	-	1,234	-	7,409	-	784	-	
福島県		△238	-	△97	-	65	-	△6	-	△175	-	△25	-		
栃木県		△209	-	△14	-	33	-	△8	-	△14	-	△206	-		
埼玉県		1,263	-	△96	-	103	-	258	-	769	-	229	-		
千葉県		3,523	-	△164	-	1	-	242	-	3,313	-	131	-		
東京都		811	-	△441	-	△185	-	241	-	1,268	-	△72	-		
神奈川県		1,173	-	3	-	58	-	151	-	919	-	42	-		
その他の県		2,833	-	△119	-	582	-	356	-	1,329	-	685	-		

注1) 転入は表側から表頭への、また転出は表頭から表側への移動者数である。

2) 県内の移動者数については転入者ベースで捉えている。

3) その他の県には国外を含む。

4) その他の移動者（従前の住所地なし、転出先不明等）数は含まない。

表一 8 県外転入及び転出者数 (平成 6 年, 7 年) 一県・地域 (単位:人)

地 域	茨 城 県			県 北 地 域			県 央 地 域			鹿 行 地 域			県 南 地 域			県 西 地 域			
	平成 7 年	平成 6 年	増加	平成 7 年	平成 6 年	増加	平成 7 年	平成 6 年	増加	平成 7 年	平成 6 年	増加	平成 7 年	平成 6 年	増加	平成 7 年	平成 6 年	増加	
転 入 者 数	総 数	80,673	81,802	△1,129	10,465	10,168	298	11,715	11,599	116	7,580	7,510	70	37,688	39,221	△1,533	13,224	13,304	△80
	北海道・東北	7,429	7,657	△228	1,829	1,888	△59	1,527	1,628	△101	416	491	△75	2,792	2,766	26	865	884	△19
	関 東	50,578	52,678	△2,098	5,748	6,019	△271	6,780	6,698	82	5,025	4,949	76	24,119	25,812	△1,693	8,906	9,188	△282
	中 部	5,521	5,441	80	776	891	△115	1,114	1,126	△12	347	364	△17	2,528	2,354	174	756	706	50
	近 畿	3,981	3,990	△9	471	397	74	496	500	△4	523	551	△28	2,032	2,129	△97	439	403	36
	中国・四国	1,770	1,862	△92	262	280	△18	287	268	19	170	183	△13	874	918	△44	177	213	△36
転 出 者 数	九 州	2,463	2,585	△122	366	374	△8	398	379	19	201	212	△11	1,259	1,328	△69	239	292	△53
	国 外	8,951	7,591	1,360	1,014	319	695	1,113	1,000	113	898	750	148	4,084	3,914	170	1,842	1,698	234
	総 数	71,517	70,694	823	11,394	10,897	497	11,058	11,001	57	6,346	6,438	△92	30,279	29,906	373	12,440	12,452	△12
	北海道・東北	7,618	7,145	473	2,025	1,773	252	1,398	1,493	△95	457	464	△7	2,837	2,516	321	901	899	2
	関 東	44,042	43,401	641	6,470	6,481	9	6,784	6,678	106	4,157	4,150	7	17,819	17,674	145	8,812	8,438	374
	中 部	5,416	5,436	△20	879	833	46	937	1,012	△75	415	355	60	2,346	2,397	△51	789	839	△50
近 畿	3,783	3,738	45	477	409	68	531	455	76	467	504	△37	1,909	1,917	△8	399	453	△54	
中国・四国	1,721	1,659	62	274	254	20	254	247	7	196	229	△33	866	797	69	131	132	△1	
九 州	2,416	2,463	△47	332	331	1	363	362	1	230	241	△11	1,225	1,259	△34	266	270	△4	
国 外	6,521	6,852	△331	937	836	101	741	754	△13	424	495	△71	3,277	3,346	△69	1,142	1,421	△279	
社 会 増 加 数 (県 外 間)	総 数	9,158	11,108	-	△928	△729	-	657	598	-	1,234	1,072	-	7,409	9,315	-	784	852	-
	北海道・東北	△189	512	-	△196	115	-	129	135	-	△41	27	-	△45	250	-	△36	115	-
	関 東	6,535	9,275	-	△722	△442	-	△4	20	-	868	793	-	6,300	8,138	-	94	760	-
	中 部	105	5	-	△103	58	-	127	114	-	△68	9	-	182	△43	-	△33	△133	-
	近 畿	178	252	-	△6	△12	-	△35	45	-	56	57	-	123	212	-	40	△50	-
	中国・四国	49	203	-	△12	26	-	33	21	-	△26	△46	-	8	121	-	46	81	-
九 州	47	122	-	34	43	-	35	17	-	△29	△29	-	34	69	-	△27	22	-	
国 外	2,430	739	-	77	△517	-	372	246	-	474	255	-	807	568	-	700	187	-	

注) その他の移動者(従前の住所地なし, 転出先不明等)は含まない。

(4) 年齢別社会動態

県南地域は22, 23歳を除く全ての年齢別社会動態の状況は, ここ数年同様の傾向を示している。転入及び転出とも0歳~17歳までは漸減し, 高校卒業後の18歳で急激に増加し最も高い数値を示す。更に, 大学等の期間が終了する22歳~24歳で再び増加した後, 年齢が高くなるにつれて減少するという傾向である(第12表, 図-7)。

また, 0歳~17歳までは転入超過であるが, 18歳~22歳で転出超過となり, 特に, 18歳では転入者数4,656人に対し, 転出者数6,474人と転出超過数(1,818人)が最も多い。23歳以降は, 再び転入超過となっている(第12表, 図-7)。

次に, 5地域別に年齢5歳階級別にみると, 県南地域は22, 23歳を除く全ての年齢階級において転入超過となっており, 転入超過数が最も多いのは30歳~34歳である。県北地域, 鹿行地域, 県西地域は, 15歳~19歳で転出超過が著しく多く, 県央地域は, 20歳~24歳で転出超過が著しい(第13表, 図-8)。

図-7 年齢（各歳）別転入及び転出者数（平成7年） —茨城県—

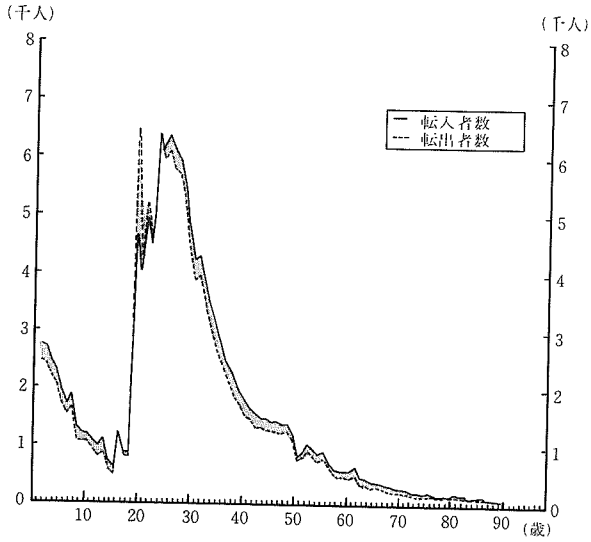
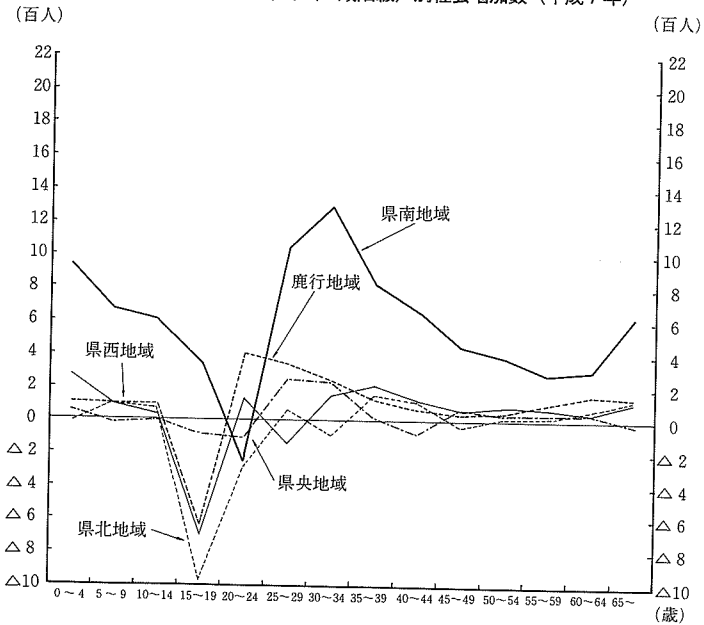


図-8 地域及び年齢（5歳階級）別社会増加数（平成7年）



4 世帯数

1世帯当たりの人員は 平成8年1月1日現在の世帯数は925,556世帯で、平成7年中に3.20人、世帯人員の減少は17,201世帯増加しており、増加率は1.88%である。人口増加率（0.57%）が続く（0.57%）と比べると1.31ポイント上回っている（第4表）。

昭和40年以降の増加率をみると、昭和40年代には3.00%を超える年もあったが、50年代には2.00%台を示すことが多くなり、50年代末から60年代前半にかけては1.00%台で推移し、64・平成元年以降は5年連続して2.00%を越えていたが、再び平成6年から1.00%台を示している。（第3表）。

昭和54年以降の人口増加率と比較すると、世帯数増加率の方が毎回上回っており、平成7年においては、3倍以上高い。

このため、1世帯当たり人員も毎回減少（10月1日現在比較）しており、今回は0.03人減少して、平成7年10月1日現在で3.20人となっている（表-9）。

表-9 世帯数増加率及び1世帯当たり人員の推移（昭和54年～平成7年） -次城県-

年次	人口増加率 (%)	世帯数増加率 (%)	対前年比 (ポイント)	世帯数増加率		1世帯当たり	
				人口増加率	対前年比 (ポイント)	人員 (人) (10月1日)	対前年比 (ポイント)
昭和54	1.96	2.94	0.14	1.50	0.06	3.86	△0.04
55	1.72	2.29	△0.65	1.33	△0.17	3.69	△0.17
56	1.49	1.95	△0.34	1.31	△0.02	3.67	△0.02
57	1.53	2.13	0.18	1.39	0.08	3.65	△0.02
58	1.24	1.87	△0.26	1.51	0.12	3.63	△0.02
59	1.03	1.50	△0.37	1.46	0.05	3.61	△0.02
60	0.94	1.56	0.06	1.66	0.20	3.59	△0.02
61	0.78	1.53	△0.03	1.96	0.30	3.57	△0.02
62	0.91	1.78	0.25	1.96	-	3.54	△0.03
63	1.00	1.90	0.12	1.90	△0.06	3.51	△0.03
64・平成元	1.00	2.19	0.29	2.19	0.29	3.47	△0.04
平成2	0.93	2.25	0.06	2.42	0.23	3.41	△0.06
3	1.15	2.77	0.52	2.41	△0.01	3.36	△0.05
4	0.88	2.26	△0.51	2.57	0.16	3.31	△0.05
5	0.75	2.08	△0.18	2.77	0.20	3.27	△0.04
6	0.75	1.99	△0.09	2.65	△0.12	3.23	△0.04
7	0.57	1.88	△0.11	3.30	0.65	3.20	△0.03

注) 1世帯当たり人員 = $\frac{\text{総人口}}{\text{総世帯数}}$